

内か外か？それが問題だ

“外来種”のワードは、誰でも一度はニュースなどで耳にしたことがあるのではないのでしょうか。最近でいうと、少し前に“ヒアリ”の侵入が世間を騒がせていましたね。今回は外来種について特集します。

“外来種（外来生物）”とは、その名の通り“外からやって来た種”であり、人間によって（意図的または偶然に）本来の生息地から別の地域に運ばれた種を指します。

外来生物法（正式名称：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）の上では、外国から侵入してきた種を“外来種”と定義しています。しかし本来、外来種の“外”という言葉が示すのは、単なる“外国”ではありません。なぜなら人間が考えた国境などは、野生生物にとっては何の意味もないからです。よって、同じ日本の中であっても、異なる地域から種が移動した場合は“外来種”になり得ます。

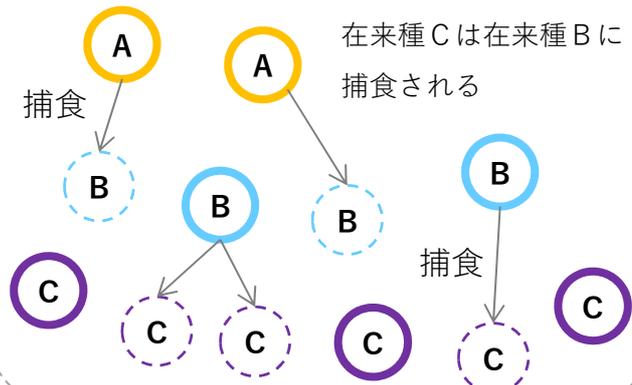
もともと野生生物は自分で（動物なら自力で、植物なら種子散布時に水・風・生物等の様々な力をかりて）移動しているものです。しかし、人間が様々な移動手段を発明したことにより、生物だけでは到底行き着くことのできなかつた場所にまで、種が移動するケースが出てきました。

生物は、長い年月をかけて様々な種が共生していく中で進化が起これ、地域ごとに独自の生態系を創り出しているものです。時として違う所からやって来た種が、生態系のバランスを大きく変えてしまうことがあります。例えば、被食者と捕食者のバランスが崩れたり（図参照）、まったく免疫のない集団に病原が持ち込まれ、壊滅的な被害となったりすることがあります

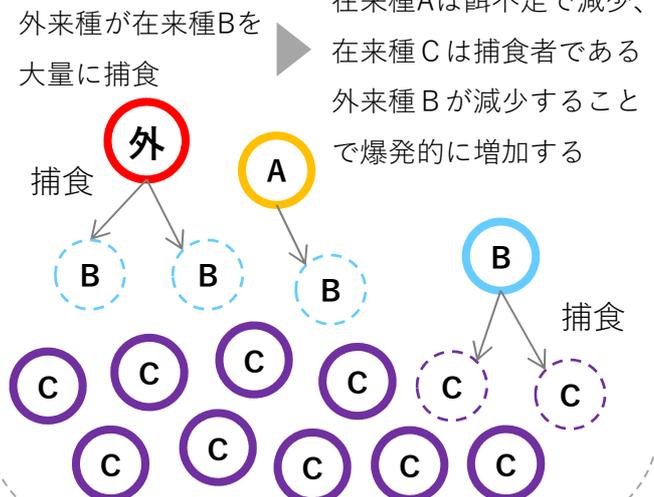
（病原がもともといた地域では、共進化により

抵抗性を持つ集団となっているため、壊滅的なまでの被害は発生しないことが多い）。

本来の生態系



外来種の侵入後



最近では遺伝子レベルでの研究が進んでおり、今まで一様だと思われていた種が、実は地域によって遺伝的に違いがあることがわかってきました。植物を植栽する際は（動物を移動させる際も）、種の地域性を考慮し、生態系に配慮することが必要となってきているのです。

製品紹介

サーベルDF

低薬量で安定した効果



茎葉処理

- 極めて低薬量で安定した効果を得られます。
- 雑草の茎葉部、根部から吸収され、細胞分裂を阻害します。
- 多年生広葉雑草には、秋冬期（10～2月）の処理が最も効果的です。
- クズへの使用では、晩秋（10～11月）の養分転流期の散布が効果的です。
- クズ防除には登録上の最大薬量（0.01g/m²）での使用をおすすめします。

- ▶芝の萌芽期～生育初期、および芝の生育が劣っている場合には、生育抑制などの薬害を生じることがあるため使用しないでください。
- ▶樹木、花きなどの茎葉にかからないよう、注意してください。
- ▶西洋芝に使用する場合は、温暖地・暖地や未完成ターフでは使用しないでください。
- ▶メトスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数は1回以内です。

- 有効成分：メトスルフロンメチル 60.0%
- 毒性：普通物
- 包装：10g/袋、10袋入り/ケース

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	1年生及び多年生 広葉雑草	秋期～冬期 (雑草発生始期～生育初期)	2～4g	150～200L
西洋芝（ペレニアルライグラス、 ケンタッキーブルーグラス）		秋期～冬期 (雑草発生始期)	1～2g	200L
樹木等		雑草生育初期	5～10g	100～150L

カーブSC

発生初期のスズメノカタビラにも効果あり



土壌処理



マスク着用

- 有効成分：プロピザミド 36.0%
- 毒性：普通物
- 包装：1L/本、10本入り/ケース

- 土壌に処理層を形成し、幼芽・幼根での細胞分裂を阻害します。
- 発生初期のスズメノカタビラにも効果を発揮します。
- 長い残効性を持ち、秋期散布で120日以上効果が続きます。
- カーブ水和剤よりも有効成分の粒子が細かいため、分散性がよく、より安定した薬液が調合できます。（※これまで同様、よく攪拌してからご使用ください。）
- 液体なので計量がしやすく、取り扱いが容易です。

- ▶洋芝（特にベントグラス）に対して薬害を生ずるおそれがあるため、使用しないでください。
- ▶プロピザミドを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生雑草 (キク科を除く)	雑草発生前（芝生育期）	400～600ml	200～300L
	スズメノカタビラ	秋冬期雑草発生初期（芝生育期）		

バイザー水和剤

一年生雑草に長期間の効果



- 広範囲の一年生雑草に対し高い除草効果を示す土壌処理剤です。
- 残効性が極めて長く、春期処理で120日以上、秋期処理で180日以上抑草します。
- 日本芝・西洋芝どちらでも使用できます。
- 発芽後の雑草には効果が劣ります。但しメヒシバには出芽直後にも活性を示します。
- ヤハズソウ、イヌタデ、オランダミミナグサ、オオイヌノフグリ、ナズナなどにも効果があります。

- 有効成分：ジチオピル 40.0%
- 毒性：普通物
- 包装：500g/袋、4袋入り/ケース



土壌処理



メガネ着用



マスク着用

- ▶ジチオピルを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前（芝生育期）	50～100g	200～300L
	一年生雑草	秋期雑草発生前（芝生育期）	100～200g	
西洋芝（ケンタッキーブルーグラス）	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前（芝生育期）	50～100g	
	一年生雑草	秋期雑草発生前（芝生育期）		
西洋芝（ライグラス）	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前（芝生育期）		

取扱い・お問合せは—



〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968